

「広域地方計画」及び「社会資本の重点整備方針」 に関する説明会の実施状況

東北圏における「広域地方計画」及び「社会資本の重点整備方針」の計画策定に向け、一般の方から広く意見を募集するパブリック・コメント（意見公募：6月11日～7月10日）に合わせ、双方の計画についての説明会を実施。

【仙台会場】

日 時：6月17日（水）
18:00～20:00
場 所：エル・パーク仙台
スタジオホール（6F）
基調講演：森杉 壽芳 氏
（東北大学名誉教授）
演 題：「広域地方計画」と
「社会資本の重点整備方針」への期待
聴講者数：約70名



【福島会場】

日 時：6月20日（土）
14:00～16:00
場 所：コラッセふくしま
中会議室401（4F）
基調講演：鈴木 浩 氏
（福島大学教授）
演 題：「広域地方計画」及び
「社会資本重点整備方針」
に期待すること
聴講者数：約120名



【山形会場】

日 時：6月21日（日）
14:00～16:00
場 所：ヤマコーホール
中ホール（7F）
基調講演：柴田 洋雄 氏
（美しい山形・最上川
フォーラム会長）
演 題：「広域計画等に期待す
ること」
聴講者数：約70名



【秋田会場】

日 時：6月26日（金）
18:00～20:00
場 所：秋田県社会福祉会館
大会議室（10F）
基調講演：稲村 肇 氏
（政策研究大学院大学
客員教授 東北大学
名誉教授）
演 題：「広域地方計画・社
会資本重点整備方
針に関するパブリ
ックコメントに対
するコメント」
聴講者数：約100名



【盛岡会場】

日 時：6月27日（土）

14:00～16:00

場 所：エスポワールいわて
大ホール（2F）

基調講演：今村 文彦 氏
（東北大学教授 大学院
工学研究科附属災害制
御研究センター）

演 題：「広域地方計画」と「社
会資本の重点整備方針」
—安全・安心の確保を
目指して

聴講者数：約110名



【青森会場】

日 時：6月28日（日）

14:00～16:00

場 所：青森駅ビル・ラビナ
ラビナホール（5F）

基調講演：香取 薫 氏
（青森公立大学教授
地域研究センター長）

演 題：「広域計画等に期待す
ること」

聴講者数：約90名



上海路線を利用提案

福島、新潟 両空港 東アジアと交流拡大

全国総合開発計画を引き継ぐ国の国土形成計画のうち、新潟県を含む東北ブロックの国土づくりの将来像や地域戦略などを示す「東北広域地方計画」の原案が20日までにまとまった。同計画の中で今後10年間で重点的に進める広域連携プロジェクト「環日本海広域交流圏の形成」の具体策として、福島、新潟両空港の上海路線を相互に活用し、東アジア地域からの人と物の交流拡大を目指すことが盛り込まれた。福島空港上海路線は中国製ギョーザ問題や四川大地震、新型インフルエンザの影響で昨年からの搭乗率が低迷しており、同プロジェクトの確実な推進に期待がかかる。

国土交通省、福島で説明会

国土交通省東北地方整備局が20日、福島市で説明会を開き、計画原案の概要を説明した。同局は7月10日まで原案への意見を公募した後、成案をまとめる。以降に国土交通相が計画決定する。

光ルートを開発、提案し、外国人観光客の誘客に向けて取り組みを進めるとしている。物流については、環日本海地域の広域連携による貿易投資や物流促進、経済交流を進めながら、両空港が互いの地域の工業潜在力を生かし、輸出入の増大に取り組む方向性を示した。昨年度の福島空港上海路線の利用は、搭乗者が5年ぶりに1万人を割り込む547人で、過去2番目に低かった。4月の搭乗者数は、前年同月を4.6%上回ったが、搭乗率は46.7%と本年度も低迷が続いている。同路線を利用した上海への貨物取扱量は昨年度、2.3トとなつている。

福島、新潟両空港の上海路線の相互活用が盛り込まれた「環日本海広域交流圏」の形成では、日本海を中心とした東アジア地域と広域交流を図る。人の交流分野で「歴史・文化資源を生かした交流プログラム」として北関東・磐城地域の広域観

と「東北ブロックの社会資本の重点整備方針」の「パブリックコメント」の開始に合わせ、一般向けの説明会を17日の仙台会場（エルパーク仙台）を皮切りにスタートさせた。17日の説明会では概要を説明し、E.U.のような国際化を目指すものであり、森村壽芳名誉教授が講師を務めることなどを分かりやすく解説した。説明会は午後、20日に山形市（ヤマ

業の集積拠点整備、地域医療支援、豪雪地域の暮らし向上などのテーマを定めて策定される。本県関係では福島空港の活用のほか、グローバル・ゲートウェイ機能強化プロジェクトに小名浜港での公共埠頭の長期一体貸し付け制度を念頭に置いた物流拠点機能の強化も盛り込まれた。

県内

東北の未来像示す

国土交通省、整備案説明会 福島

国土交通省東北地方整備局は20日、福島市で策定中の東北圏広域地方計画と社会資本重点整備方針に関する説明会を開いた。

計画立案に参画している鈴木浩福島大共生システム理工学類教授が基調講演をし、地域再生に結び付く計画作りと進捗管理の重要性を指摘した。都市と農



東北圏広域地方計画に理解を深めた説明会

村の連携などを重視した「東北発コンパクトシティ」の考え方を生かして東北の将来を展望するべきなどと説いた。広域地方計画は全国総合開発計画（全総）に代わる国土形成計画の地方版。整備局は七月十日まで、原案に対する意見を募集している。問い合わせは東北圏広域地方計画推進室（電話022(2)660014）。

広域地方計画など説明会がスタート
東北整備局

と「東北ブロックの社会資本の重点整備方針」の「パブリックコメント」の開始に合わせ、一般向けの説明会を17日の仙台会場（エルパーク仙台）を皮切りにスタートさせた。17日の説明会では概要を説明し、E.U.のような国際化を目指すものであり、森村壽芳名誉教授が講師を務めることなどを分かりやすく解説した。説明会は午後、20日に山形市（ヤマ

(第三種郵便物認可)

2009年(平成21年)6月22日(月曜日) (2)



広域地方計画への意見公募に協力を求めた
説明会
山形市・ヤマコーホール

国交省が策定中の広域地方計画 意見公募へ協力求める

山形

国土交通省東北地方整備局が策定を進めている広域地方計画などに関する説明会が21日、山形市のヤマコーホールで開かれ、山形大名誉教授の柴田洋雄氏が「広域計画などに期待すること」と題し講演、計画に対する意見公募への協力を呼び掛けた。

柴田氏は、広域地方計画や、その基本となる全国計画に都道府県や市町村の考えを反映できるようにしたことなど、従来の全国総合開発計画との違いを説明。「手作りを進めている計画。ぜひ住民の皆さんの建設的な意見がほしい」と訴えた。

国土形成計画(全国計画)が昨年7月に閣議決定された

を受け、国交省は現在、東北など全国の各広域ブロックで広域地方計画の検討を進めている。

東北地方整備局は現在、広域地方計画に関する意見を公募中。資料はホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/> や郵送などで入手できる。

「広域計画」の
目標など示す

秋田市

東北地方整備局が説明会

国土交通省東北地方整備局は26日、秋田市の県社会福祉会館で広域地方計画に関する説明会を開いた。計画は新潟県と東北6県を東北圏とし、地域の将来像や戦略を示すもの。夏ごろまでの策定を予定しており、7月10日までパブリックコメントを募る。

県や市町村の職員ら約100人が出席。計画は▽循環型・低炭素社会の構築▽雪や災害などに強い安全・安心な圏域の実現▽自動車産業や農林水産業など地域資源を生かした産業の活性化▽港や高速交通によるネットワークの形成など交流・連携機能の強化などを目標としている。

説明会では、政策研究大学院大学(東京・港区)の稲村肇客員教授が講演。広域計画のメリットについて「圏域が直接外国との交渉能力を持つことができる」とし、「地方公共団体が自ら計画を作り、県境を越えて調整することが重要。それぞれが声を上げ、利害の対立を超えて、もり立ててほしい」と話した。